



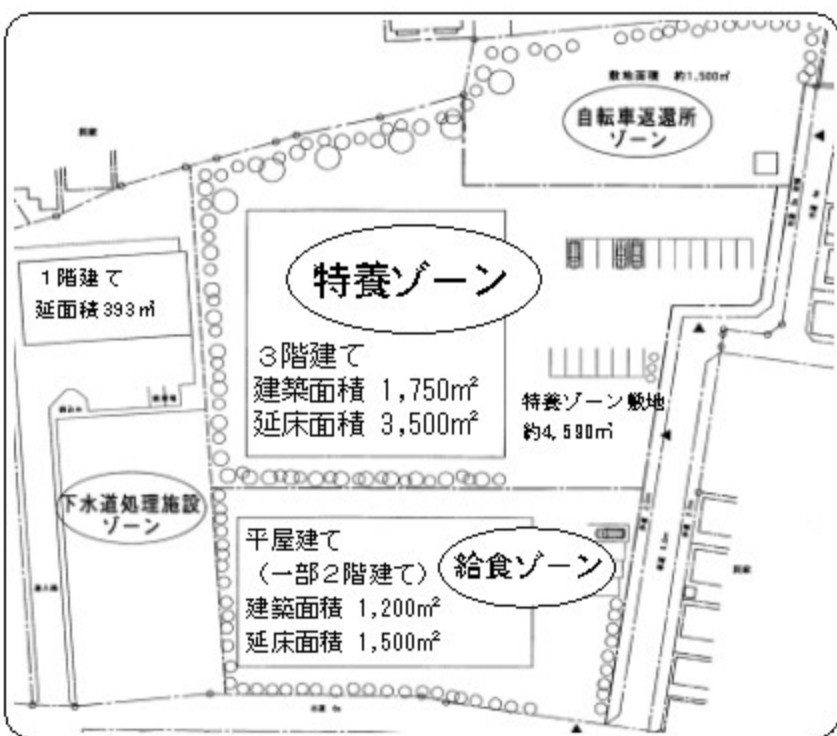
小田急バス「早期時間帯の増便を考えている」

11月25日、日本共産党市議団は仙川の小田急バス本社でバスの利便向上のための交渉を行いました（写真）。私、鈴木えつおも参加し、①狛江駅～宇奈根のバスの増便、②二子玉川へのバスとの乗り継ぎ、③和泉多摩川郵便局前へのバス停設置など求めました。

北島泰男・運行計画担当主査は「狛江駅～宇奈根の増便は可能」と答えました。

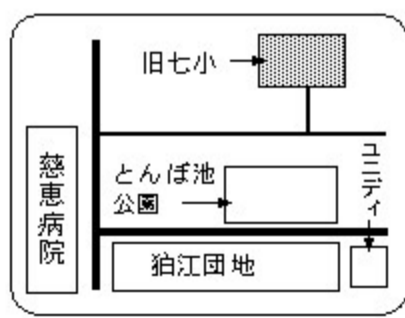
狛江駅～宇奈根のバス、増便を

特養ホーム、給食調理場の建設配置図発表（旧七小跡地）



西野川4丁目の旧七小跡地の活用計画（概要）が発表されました。

一番北側に東和泉1丁目から移設される自転車返還所、中央部には3階建ての特養ホーム、南側に給食調理場が整備され、西側には東京都の下水処理施設が整備されます。特別養護老人ホームは、3年半後の14年度に開設予定です。給食調理場は現在実施されている中学校給食を、より安全でおいしい給食にするための拠点施設として活用されます。



ら移設される自転車返還所、中央部には3階建ての特養ホーム、南側に給食調理場が整備され、西側には東京都の下水処理施設が整備されます。特別養護老人ホームは、3年半後の14年度に開設予定です。給食調理場は現在実施されている中学校給食を、より安全でおいしい給食にするための拠点施設として活用されます。

バスは、利用者が増えており朝の時間帯は15分～20分間隔になるよう増便を考えている。この路線を開通した時は宇奈根で近所の人10人くらいが花束を持って出迎えてくれた」「二子玉川へのバスとの乗り継ぎは東急バスとの関係で難しい」「和泉多摩川郵便局前のバス停は近隣の同意が得られれば可能」と答えました。

ぜん息医療の無料化継続を

私、鈴木えつおは、9月議会的一般質問で、ぜん息等大気汚染の患者団体からの要請を受け、医療費無料化制度の継続充実を求めました。

患者さんが起こした裁判がきっかけでつくられたぜん息患者の医療費無料化制度は、あと3年で見直されます。いま患者団体が要求しているのは「国の制度として継続充実すること」です。

165名、3・89%で、平成21年度は332名、7・4%と答え、小児ぜんそく患者が、この8年間で約2倍に増えていることが明らかとなりました。

低所得者への市民税の減免拡充を

景気悪化の中で生活が困難し、市民税等を滞納される方も増えています。

私は、相談のあった方と一緒に、市役所の窓口で市民税の減額免除を求めましたが、持家なので減免できないと言われました。しかし持ち家といっても居住用の最低限の家であり、現に生活に困窮している場合は認めるべきではないかと考えました。

小川市民生活部長は「持家があるという判断だけで不適用であるという判断をするようなことはせず、まずは事情を伺ったうえで申請をしていたら、減免に該当するかどうか判断していききたい」「今後どのような見直しが可能なのか、議論する時間をいただきたい」と答えました。

南部地域センターで利用者発表会



10月31日、南部地域センターで利用者発表会が開かれ大勢の人でにぎわいました（写真）。ホールでは、カラオケやフルート演奏など、和室では詩吟や日本舞踊、二階の部屋や一階ロビーでは、絵手紙や書道、手芸や絵画、折り紙の展示、野外では地元野菜の販売などが行われました。



なんでもお気軽にご相談ください

連絡先：自宅 3488-8839
 駒井町 3-18-5
 事務所 5497-2435
 猪方 3-37-5
 市議会控室 3430-1177

日本共産党市議会議員 **鈴木えつお**